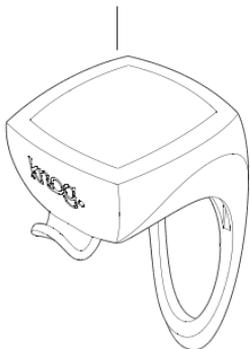


ワイヤレス.....	39
メインユニットセットアップ	40
機能	43
ボタン機能と通常操作	44
バイクの設置	46
バッテリーの交換	48
ケアとメンテナンスの説明	48
N. E. R. Dのスペック	49

日本語

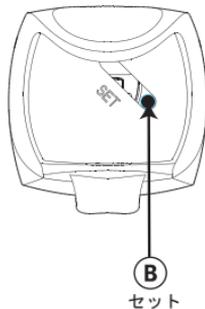
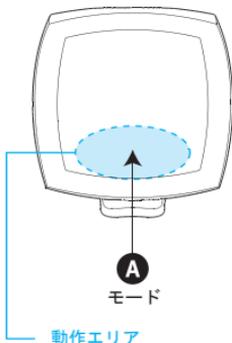
ワイヤレス コンピューター



トランスミッター



マグネット



ワイヤレスN.E.R.Dは上部に表示されているエリアのコンピューター画面を押すことで動作するモードボタンを備えています。

モードボタンはコンピューターのほとんどの基本操作で使用します。この説明書では、モードボタンをAと表記します。

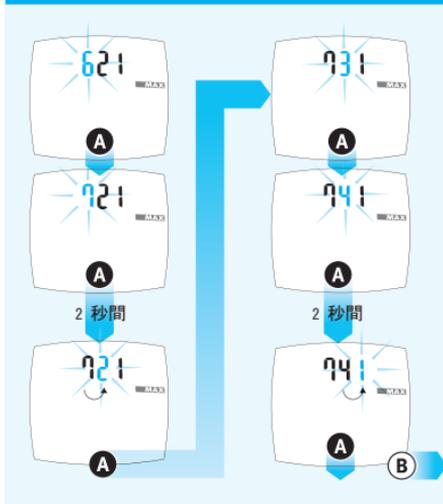
セットボタンは上で指し示したようにコンピューターの下側に設置されています。ペン又はその他小さな物で押して使用してください。セットボタンはセットアップ動作でのみ使用されます。

この説明書では、セットボタンはⒷと表記します。

データセッティングの仕方 (図 1.1)

1. 全てのユーザー入力データは各々の数値ごと別々に調整されます。セットされる現在の数が点滅します。
2. **A**を押すことで数値を1増やすことができます。
3. **A**を2秒間押すことで次の数に進むことができます。
4. **B**を押すことで画面のデータを記憶させ、次のデータセッティングに進むことができます。
5. 全てのデータセッティング完了後、**B**を2秒間押すことでデータセッティングモードから抜けることができます。この動作はデータセッティングモードの間何時でも行え、セットされていないデータは0で表示されます。

Fig 1.1
データセッティングの仕方



* = *の記号は「N.E.R.D12機能」のみの機能となります。

コンピューターの初期化 (全消去) (図 1.2)

1. ご購入時のメインユニットにバッテリーはすでに装着されています。**A**と**B**を同時に3秒間押すことで、初期化とデータの全消去が行えます。
Aコンピューターエラーを防ぐためにお使いの前にコンピューターを初期化してください。
2. LCD区分はユニットの初期化後、自動で検査されます。
3. **A**を押すことでLCD検査を止めることができます。その後、KM/Hと点滅します。

ユニット選択 (図 1.3)

- A**を押すことでKM/HかM/H(Mile/hour)に切り替えることができます。**B**で現在の選択を決定してください。

円周のデータセッティング (Fig 1.4a)

1. ディスプレイにc2155と表示されますが、これはデフォルトの円周が2155mmで設定されていることです。下の順序に従って、車輪を測ってください。

車輪円周の計測 (図 1.4b)

車輪のバルブが最も低い地点(地面に最も近い)になるまで車輪を回し、地面の最初の地点をマークしてください。車輪が完全に一回点するまで自転車を前に動かすと、バルブが最も低い地点に戻るはずですが、地面の次の地点をマークしてください。2つのマーク間の距離を計測してください。この結果を車輪円周のセットとして入力してください。乗車時、精密な計測のためには正しいデータを入力してください。

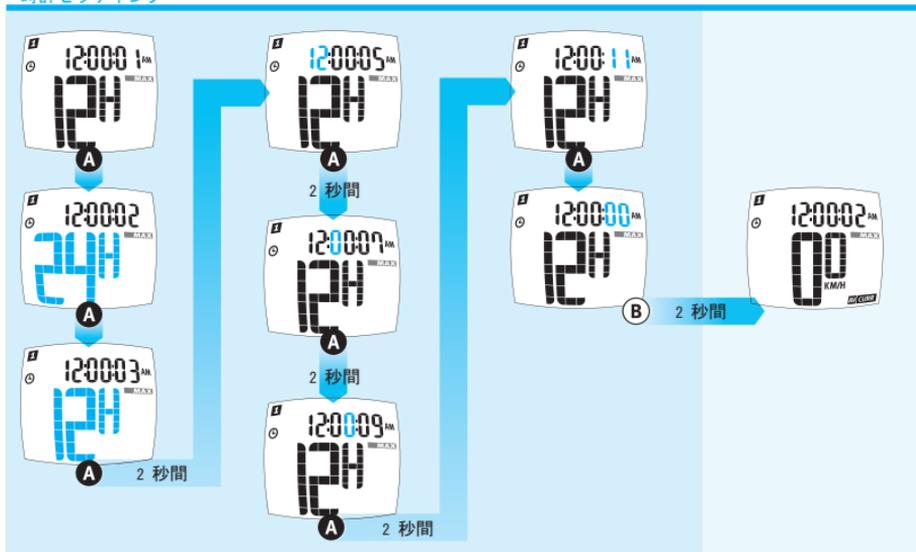
オドメーターと全走行時間のデータセッティング(図1.5)

1. バッテリーの交換後、ODO **1**, ODO **2**, T.TIMED TRIP **1**, T.TIMED TRIP **2** の前回のデータを入力するように設定されています。新規のユーザーはこのデータをセットする必要はありません。**B**を押すごとに次のデータセッティング画面に進めます。
2. 「データセッティングの仕方」で説明した方法で数値を設定してください。(図 1.1)

時計セッティング (図 1.6)

1. 時計のセッティングの時  のシンボルが表示されます。
- 2 1 2 時間AM/PM又は 2 4 時間時計モードを選択してください。
 ●Aを押すことで 1 2 時間AM/PM又は 2 4 時間フォーマットの切り替えが行えます。●Aを 2 秒間押すことで時間セッティング画面に進めます。
3. データセッティング過程に沿って時計を設定してください。(Fig 1.1)
4. ●Bを押して変更したデータを保存し、時計セッティングモードを終了します。

図 1.6
時計セッティング



* = *の記号は「N. E. R. D12機能」のみの機能となります。

現在のスピード

0.0-199.9KM/H 又は 0.0-120.0Mile/H

乗車中、メイン画面に現在のスピードが表示されます。コンピューターは199.0KM/H 又は 120.0M/Hまで登録できます。(24インチの車輪がそれ以上の径に最適です。)バイクの動きが止まった時、スピード計算機はこれ以上の車輪シグナルを受けていない事を認識する為に4秒間動作し続けます。

🕒: 12H AM/PM 又は 24H 時計

1:00:00-12:59:59 (AM/PM) 又は 0:00:00-23:59:59 (24H)

現在の時間を12H AM/PM 又は 24Hフォーマットで表示します。

TRIP DIST: 走行距離

0.00-999.99KM 又は Mile

最後にリセットを行ってから計測した走行距離を表示します。

TIMED TRIP: 乗車時間

0:00-59:59 (MM:SS) / 1:00-99:59 (HH:MM)

最後にリセットを行ってから全乗車時間を表示します。

計測は乗車によって自動で開始し、停止後これ以上の車輪シグナルを受けていない事を認識する為に4秒間カウント継続します。

追加の4秒カウントは自動で除外されます。

AVG: 平均スピード

0.0-199.9KM/H 又は 0.0-120.0Mile/H

平均スピードを表示します。一走行距離を走行時間で割って計測します。このデータは最後にリセットを行った時から計測されます。

走行時間が6秒以下の時0.0と表示され、6秒を超えるると約1.2秒毎にアップデートされます。

▲走行時間が100時間以上や走行距離が1,000km/mile以上の時、平均スピード、走行時間、走行距離は自動でリセットされます。

MAX: 最速スピード

0.0-199.9(km/hr) 又は 0.0-120.0(mile/hr)

最後にリセットを行ってから記録した最高スピードを表示します。

相対スピードゲージ

現在と平均のスピードを横並びの比較された16の区分ゲージとして表示されます。一記録した最速スピードから指示されます。

全情報は最後にリセットを行ってから計算、計測されます。

DIST/DAY: 1日あたりの距離*

0.00-999.99 (KM 又は Mile)

24時間間隔 (12am-12am) で計測した走行距離を表示します。

T.TIMED TRIP: 全乗車時間 (自転車 🚲*)

00:00 (HH:MM) / 9999:59 (HH:MM)

コンピューター使用開始からの計測乗車時間を表示します。T.TIMED TRIP 🚲と🚲*のデータはリセット操作で消すことはできません。

ODO: オドメーター (自転車 🚲*)

0.0-999999 (KM 又は Mile)

コンピューター使用開始からの走行距離を表示します。ODO 🚲とODO 🚲*のデータはリセット操作でゼロに戻すことはできません。

SCAN: 自動スキャンディスプレイモード

繰り返し全ての機能が順番に表示され、ディスプレイモードで毎5秒間自動で更新されます。

[LOW]: 少量バッテリーの指示

バッテリーの容量が2.4V以下に落ちるとシンボルが表示されます。

🌟: ディスプレーのバックライト*

起動している時、🌟を押すことで毎5秒ディスプレイが明るくなります。

▲全機能のデータは約1.2秒毎に更新されます。

* = *の記号は「N.E.R.D12機能」のみの機能となります。

モードボタン (図 2.1)

Ⓐを押すことで一つのモード表示からその他の表示に進むことができます。

セットボタン

Ⓑを押すことでセッティング画面に進め、バイクの周回又は、現在の時間。

リセット操作 (図 2.2)

1. ディスプレーの数値が消えるまでⒶを3秒間押ししてください。コンピューターは記録した **AVG, TRIP DIST, TIMED TRIP, MAX** のデータをゼロにリセットします。

▲リセット操作では、ODO, T.TIMED TRIP, DIST/DAY はリセットされません。

オートパワーオフとスタンバイモード

バッテリー容量を保存するために、コンピューターは15分後自動でスタンバイモードに替わります。スタンバイモードでは時計データのみ表示されます。その状態でⒶを押すことで通常操作に戻る事ができます。

図 2.1

機能モードの続き



図 2.2

リセット操作



自動 START/STOP

コンピューターは乗車時に自動でカウントデータを開始し、乗車終了後、停止します。

▲自動でカウントモードを開始するためには、コンピューターはスタンドバイモードであってはけません。

ディスプレイバックライトのON/OFF* (図 2.3)

1. バックライトを点けるためには、ディスプレイに➡アイコンが表示されるまでⒶを6秒間押ししてください。

2. バックライトを消すためには、➡アイコンが消えるまでステップ1の動作を繰り返してください。

▲バックライト起動時、モードボタンを押すことで現在のモードのみ表示されます。バックライト点灯時、次のモード表示に進む為にはもう一度モードボタンを押さなければいけません。

図 2.3

ディスプレイバックライトのON/OFF*



* = *の記号は「N.E.R.D12機能」のみの機能となります。

外周リセット

1. ディスプレーがODOモードに進むまで**A**を押してください。
2. **B**を押して、外周セットアップ画面に入ってください。
3. データセッティング過程(図 1.1)にそって好みの数値を設定してください。
4. **B**を2秒間押して、変更したデータを保存してください。

時計リセット

1. ディスプレーが時計モードに進むまで**A**を押してください。
2. **B**を押して、時計セットアップ画面に入ってください。

3. データセッティング過程(図 1.1)にそって好みの数値を設定してください。

4. **B**を2秒間押して、変更したデータを保存してください。

自転車 1 又は 自転車 2 の選択*(図 2.4)

1. このコンピューターは外周メモリーを2セット備え、2つの異なるバイクのデータを計算します。

2. バイク選択画面に入るまで**B**を3秒間押してください。

a) **A**を押すことで自転車 1, 自転車 2*と切り替えます。あなたの車輪円周を“C****”と表示します。

b) **A**を2秒間以上押して選択を記憶させ通常操作モードに進んでください。

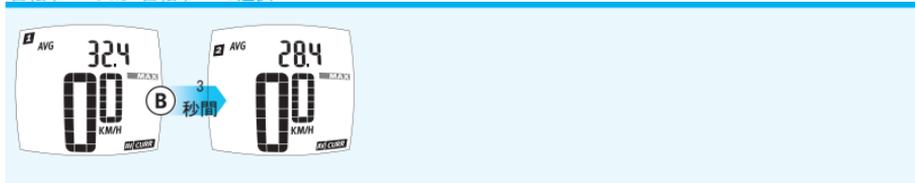
図 2.1

機能モードの続き (継続)



図 2.4

自転車 1 又は 自転車 2 の選択*



* = *の記号は「N.E.R.D12機能」のみの機能となります。

メインユニット (Fig 3.1)

メインコンピューターユニットはメインカバーを回転、取り外し可能でハンドルバー又はハンドルバーステムに設置可能です。シリコンストラップによって、バイクへの設置が簡単に素早く行う事が出来ます。

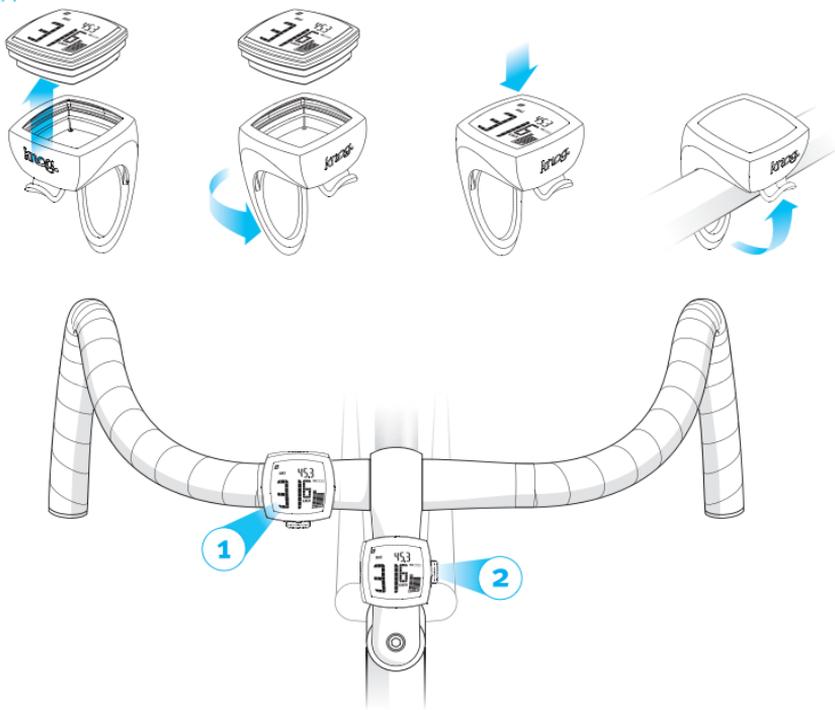
1. トランスミッターとメインユニットを無理なく見下ろせるハンドルバー又はステムの位置を選んでください。

2. パーまわりのシリコンストラップを引っ張り、フックに取り付けければ完成です！

▲メインコンピューターユニットのシリコンストラップは22mmから38mmの径で設置可能です。

▲N.E.R.Dのワイヤレスシグナルを最適に使用するためには、フロントライトより5cm以上間をあけて取り付けすることを推奨します。

図 3.1



スポークマグネット

1. 2等分のマグネットを外し、バイク前輪のスポークに設置してください。(図 3.4)
2. マグネットがスポークから上下に動かないようにマインスドライバーでネジを閉めてください。

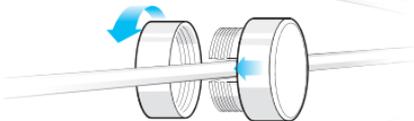


図 3.4

トランスミッターユニット

ワイヤレストランスミッターは前面車輪フォークへ素早く、簡単に取り付け、取り外し可能です。

1. トランスミッターとメインユニットの間に障害物のないよう、フォークの位置を選んでください。(図 3.5)
2. センサーテキストがスポークマグネットに近いフォークの車輪側になるように注意して設置してください。
3. シリコンカバーの矢印がメインユニットに向かって上向きを指しているか注意してください。
4. フォークまわりのシリコンストラップを引っ張り、フックに取り付けてください。径の太さにより、最も最適なストラップのフックの1つを選んでください。
5. 設置後、スポークマグネットに対応した最も近い位置を確認するために、トランスミッターユニットを動かしてください。

マグネットとトランスミッターカバーの感知可能距離は5から10mmの間です。(図 3.6)

▲トランスミッターユニットのシリコンストラップは2つのループ線を持ち、20mmから45mmあたりの径のフォークに設置可能です。

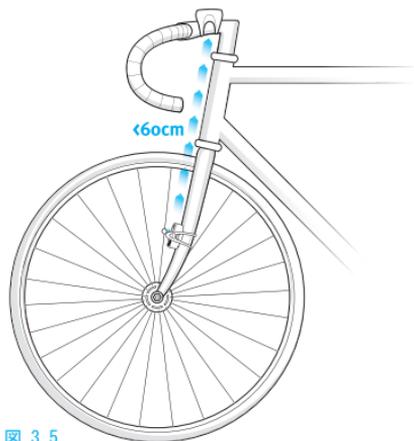


図 3.5

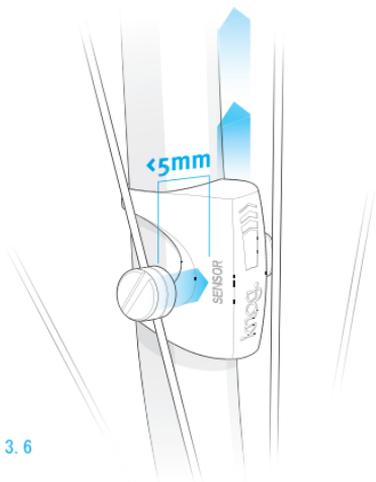


図 3.6

* = *の記号は「N.E.R.D12機能」のみの機能となります。

メインユニットのバッテリー交換(図 4.1)

1. バッテリーの容量が低い時、シンボルが表示されず。
2. このシンボルが表示されてから1週間以内にバッテリーの交換を行ってください。
3. バッテリー交換後全てのデータがクリアされます。集めたODO **1**、ODO **2**、TIMED TRIP **1**、TIMED TRIP **2**のデータは再度入力することができます。バッテリー交換の前に車輪円周などの記録したデータを保持することをお勧めします。
4. CR2032を交換して、メインユニットを起動してください。

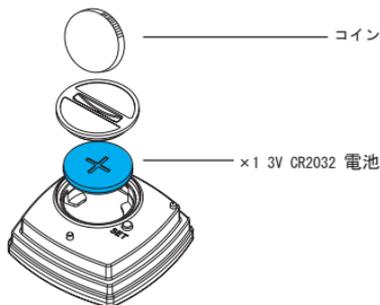


図 4.1

トランスミッターユニットのバッテリー交換(図 4.2)

1. バイクのフォークからトランスミッターを外してください。
2. 電子カバー裏あたりのシリコンボディーをはがしてください。
3. キャップを外し、バッテリーを外してください。
4. LR44電池を交換してください。バッテリーのプラス電極(+のサインで指示されている側)は外側に向けてください。
5. カバーのふたが確実に閉まるよう気をつけて交換してください。
6. シリコンボディーを電子カバーに装着し直してください。シリコンがねじれていないか確かめてください。

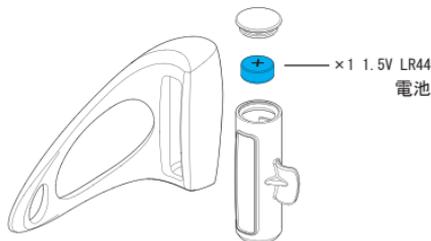


図 4.2

ケアとメンテナンスの説明

1. 乗車されていない時、メインユニットを直射日光から避けて置いてください。
2. 月に1、2度は関連位置、センサーマグネットとトランスミッターカバーの間隔がずれていないか点検してください。
3. ユニットの掃除するには、いらなくなった布で軽くふき取ってください。ユニットへのダメージを避けるため、アルコール、シンナー、ベンゼンのご使用しないでください。
4. このユニットの美しさに見とれるのは分かりますが、道をしっかり見てください!

* = *の記号は「N.E.R.D12機能」のみの機能となります。

トランスミッター付きセンサー	アナログワイアレストランスミッター付き非接続マグネットセンサー
ワイヤレス感知距離	トランスミッターとメインユニットの間55cm(1.8feet)
混線 / 妨害	40cm(15.8")の範囲外であれば、類似したコンピューターを持つ2つの自転車と並んで走行しても妨害は起こりません。稀に強力な電磁波を発する機器、例えばフラッシングライトなどの近くでは混線する場合があります。その際は、組み合わせを考慮してください。
車輪円周のセッティング	1mm-3999mm(1mm 増加)
操作時の気温	0°C—5 0°C (3 2 F—1 2 2 F)
保管時の気温	-10°C—60°C (1 4 F—1 4 0 F)
メインユニットのバッテリー容量	X1 CR2032 3V電池 ▲トランスミッターのバッテリーは平均1日1.5時間使用で約1年間はお使用になれます。
トランスミッターユニットのバッテリー容量	X1 LR44 1.5V 電池 ▲トランスミッターのバッテリーは平均1日1.5時間使用で約1年間はお使用になれます。
サイズ	メインユニット : 53×51×40mm トランスミッターユニット : 52×27×52mm
重量	メインユニット : 45グラム トランスミッターユニット : 39グラム